

7月24日の強風・降雹に対する農作物の事後対策

令和7年7月24日

農業技術課

令和7年7月24日午後2時頃から、県内各地で強風や一部降雹が観測されました。被害等の状況にあわせ、以下の対策の徹底をお願いします。

【果樹】

【モモ・スモモ等】

- ① 収穫前の園で、果実にキズが発生している場合は、果実腐敗病の発生が心配されるため、防除暦を参考に果実腐敗病防除剤による防除を徹底する。
- ② 強風や降雨により落果した果実は、果実腐敗病等の伝染源となるため、速やかに園外へ持ち出するか土中に埋める。また、樹上でも損傷が大きく腐敗の恐れのある果実は除去し、落果したものと同様に処分する。
- ③ 太枝が裂けた場合は、裂傷部をビニールで覆い、縄等で結束する。なお、裂傷がひどい場合は、裂傷部を平らに剪除し、ゆ合剤を塗布する。

【ブドウ】

- ① 園内を見回り、枝や新梢の再誘引、カサの外れたものやめくれたものはかけ直しを行う。
- ② 葉ズレ、カサズレ、打撲のひどい果粒、及び降雹による損傷がある果粒や裂果した果粒は除去する。また、果房が袋内にある場合も袋内を確認し、傷果を除去する。
- ③ 枝葉に裂傷を受けている場合、病害の発生が心配されるため、慣行防除であるボルドー液の散布を実施する（カサ栽培の場合は棚上散布）。
- ④ 黒とう病の発生している園では、発生している部位の周囲に感染が広がっていることが多いため、発生部位の周囲等を丁寧に観察し、病斑が見られる葉や新梢、果実、巻きひげは見つけ次第取り除き、園外に持ち出し処分する。

【野菜】

- ① 茎葉や幼果の損傷等により、疫病、菌核病など病害の発生が懸念されるため、防除基準に従って薬剤を散布し、病害の発生を予防する。
- ② ナス、キュウリ、トマト等は、キズ果を早めに除去し、樹の負担の軽減を図る。